

地域ケア会議 NEWS☆LETTER

令和6年度 第2回地域ケア推進会議を開催！

令和6年8月27日に第2回地域ケア推進会議を開催しました。今回は前回に引き続き生活支援コーディネーターから、こもろ愛のりくんの乗車報告や移動支援に関するモデル事業の取り組みについて報告がありました。また、新たな困りごと（地域課題の種）に取り組むため、生活支援コーディネーターから最近耳にしている地域課題について提示があり、それを基にグループワークを行いました。



こもろ愛のりくん乗車報告

◆乗車時の状況

- ・「こんにちは」「今日はどこ行くの？」等乗客同士挨拶していた。
- ・家の周りが狭いため、道路まで出てきて待っている乗客の姿があった。

◆ドライバーより

- ・「病院」と「買い物」を目的とした利用が多い印象がある。
- ・ドライバーには専属のエリアが特に定められていない。

◆こもろ愛のりくんのポイント！

- ・定期的な通院の予定が決まっている方や乗り合いの旅をゆったり楽しみたい方には特におすすめ。申込みや乗車で不安なことがあっても、コールセンターの方が丁寧に説明や対応をしてくれる。
- ・指定された停留所や運行時間以外での送迎は出来ず、緊急時の送迎、大荷物を持つての乗車や介護を要する方一人での乗車は難しい。
- ・小諸市民は免許を手放すまで自分で運転しており、時間や行先に制約がある公共交通に慣れていないこともあり、こもろ愛のりくんは「使いにくい」という感情に繋がっていると考えられる。

◆タイムスケジュール（乗車したコースの一例）

- 8:30 ～ 8:40 : 自宅発 ～ 高原病院着
- 9:35 ～ 10:05 : 高原病院発 ～ コールセンター着
- 10:20 ～ 10:30 : コールセンター発 ～ ツルヤ東店着
- 11:50 ～ 12:00 : ツルヤ東店発 ～ コールセンター着
- 12:20 ～ 12:30 : コールセンター発 ～ 自宅着

◆気になるアレコレ

- Q. ステップは高いのか？⇒高齢者疑似体験セットを着用し、検証。（膝にサポーター、足に重りを装着）
- A. 足の曲げにくさはあったものの、ステップは低めに設定されており少しでも足が上がりれば乗車可。出入口には手すりが多い設置されており、握りながら乗車できた。
- Q. 買い物後の荷物って、どの程度持ち込めるの？⇒実際に膝上程度の物を持ち込み、検証。
- A. 膝上に置ける程度の荷物だと、余裕をもって座ることができる。多くの荷物を持って乗車すると、ブレーキで停車した場合、床に荷物が散らばる危険がある。荷物が多いと両手がふさがり、手すりを掴むことができない。

公共交通機関で全ての移動課題への対応は難しい



新たな移動手段が必要か？

福祉施設の空き車両活用した移動支援検討中

森山区における移動支援モデル事業の報告



●モデル事業（森山区）の実施スケジュール

実施日	対象者	車両の種類
6/25（火）	行き1名、帰り2名	軽自動車
7/23（火）	〃	送り：軽自動車 迎え：ワゴン車
8/27（火）	〃	リフト付き車両

●森山区の概要

世帯数：565 世帯

人口：1,309 人

森山区は三岡地区の北部に位置し、横長の地区で公民館は地区の真ん中にある。

健康達人区らぶは毎月1回公民館で開催。

●モデル事業当日の流れ

時間	福祉推進委員会の動き	協力事業所（浅間福祉会）の動き
9:20	福祉推進委員会の役員で健康達人区らぶの準備。対象者の家族の意向で、いきなり知らない人が迎えに来て心配とのことなので民生委員も同行。	公民館に到着。対象者の情報を共有後、民生委員を乗せて対象者宅へ出発。
9:30	対象者宅に到着。対象者を乗せ公民館へ。	対象者宅に到着。手引きで歩行介助し対象者を乗せ、公民館へ送った後一旦施設へ戻る。
11:40	生活支援コーディネーターより健康達人区らぶが閉会になりそうなことを連絡。	社協より健康達人区らぶが閉会になりそうなことの連絡を受け、施設を出発。
12:10	公民館に迎えに来た事業者の車両へ対象者2名と民生委員が乗車。それぞれの自宅へ送り届ける。	公民館に到着。対象者2名と民生委員を乗せ、それぞれの自宅へ送り届ける。

●モデル事業を利用された方の声

- ・これまで友人に送ってもらって申し訳ないと思っていたけど、気兼ねなく通えるようになった。
- ・今まで家族に送迎してもらったけど、帰りは家族の都合で早く帰っていた。送ってくれると最後まで参加できるから嬉しい。

●協力事業所の声

- ・これくらいのことであれば、今後も協力できそう。
- ・市内の事業所だけでは限界があるかも。

●福祉推進委員会役員の声

- ・今まで参加者同士で送迎してもらっていた方が安全に来られるようになって良かった。
- ・健康達人区らぶの活性化に向けて移動支援を継続して欲しい。
- ・今来られていない人にも広げていきたい。

希望区と事業所をマッチングする上では、このプロセスを踏むことが有用であった。



今後は県の移動支援アドバイザーの助言も踏まえて、市内空き車両の状況を把握し、協力できる事業所と個別面談、各区での健康達人区らぶで聴き取りを行い、事業所と各区のマッチングを進めていきます。

地域課題についてグループワークを実施しました

生活支援コーディネーターから提示のあった地域課題は右記のとおりで、これを基にグループワークを行いました。

出された意見等は次回会議で地域の課題の種シートとして示す予定です。

キーワード	内容
草刈り・草むしり	庭や敷地内での草刈り、ごみ出し
高齢者の交流の機会	小地域での介護予防の機会の充実
住民同士の互助活動の充実	住民同士でのちょっとした支援活動
透析通院	透析患者の通院
見守り	声掛けや見守り体制
区の未加入者への対応	区に未加入者への支え合い活動の対象について